



自然関連財務情報開示のためのワークショップ 《アドバンス編》のご紹介

自然関連財務情報開示のためのワークショップ《ベーシック編》
第2回 自然関連の依存・影響・リスクの分析に活用できるツールの紹介・実践

2023年10月31日



1 アドバンス編開催概要

- 名 称：自然関連財務情報開示のためのワークショップ《アドバンス編》
(通称「ツール触ってみようの会」)
- 開催時期：令和5年11月29日(水)、同年12月19日(火)、令和6年1月15日(月) 全3回
- 開催方法：現地参加のみ(募集人数は、10社程度(各社1名))
- 備 考：(一部プログラムを除き、後日アーカイブ配信予定)

	テーマ	日時	対象者	内容
第1回	ライフサイクル全体を通じた自然との関わりの評価・分析①	11月29日(水) 14:00~17:00予定	事業部門及びサステナビリティ部門の担当者	スコーピング及び Locate の実践、生物多様性への影響量を量る指標(エコロジカルフットプリント)の解説、試行
第2回	ライフサイクル全体を通じた自然との関わりの評価・分析②	12月19日(火) 12:30~15:40予定	事業部門及びサステナビリティ部門の担当者	Evaluate、Assessの解説、生物多様性への影響量を量る指標(LIME3)の解説、試行
第3回	情報開示に向けた準備	1月15日(月) 13:00~16:20予定	事業部門及びサステナビリティ部門の担当者	TNFD開示提言の解説、情報開示ワークショップ、開示の最新事例紹介

1 アドバンス編開催概要

【第1回】

- 11月29日（水）
- 14:00～17:00予定

開催時間	内容
14:00-14:10	開会あいさつ
14:10-14:50	スコーピング、Locateの実践
14:50-15:20	エコロジカル・フットプリントの解説
15:20-15:35	休憩
15:35-16:35	エコロジカル・フットプリントの試行
16:35-16:45	宿題について
16:45-16:55	質疑応答・アンケート
16:55-17:00	閉会あいさつ

【第2回】

- 12月19日（火）
- 12:30～15:40予定

開催時間	内容
12:30-12:35	開会あいさつ
12:35-13:00	Evaluate, Assessの説明
13:00-14:30	LIME3の解説・試行
14:30-14:45	休憩
14:45-15:15	LIME3の質問
15:15-15:25	宿題について
15:25-15:35	質疑応答・アンケート
15:35-15:40	閉会あいさつ

【第3回】

- 1月15日（月）
- 13:00～16:20予定

開催時間	内容
13:00-13:05	開会あいさつ
13:05-13:25	TNFD開示提言の解説
13:25-14:25	情報開示ワークショップ
14:25-14:40	休憩
14:40-15:30	発表・意見交換
15:30-16:05	開示の最新事例紹介
16:05-16:15	質疑応答・アンケート
16:15-16:20	閉会あいさつ

2 エコロジカル・フットプリント

- 第1回ワークショップで、解説および試行予定。
- 講師：特定非営利活動法人エコロジカル・フットプリント・ジャパン
理事 伊波克典氏・清野比咲子氏

エコロジカル・フットプリントとは？

人間の活動が地球環境にどれくらい負荷をかけているかを示す指標。人間が消費する量(需要)と地球が生産する量(供給)を数値化し、比べることで持続可能性がわかる。

3つの特徴

1. 環境負荷の「見える化」と「比較性」

- 「見える化」 私たちの消費活動やそれに伴う廃棄（二酸化炭素）量を、生産可能な土地面積に変換する。
- 「比較性」 算出した値は、国別（地域別）、異なる土地区分、時系列で「比較」できる。

2. 6つの土地区分（耕作地、牧草地、森林地、漁場、二酸化炭素吸収地、生産能力阻害地）で算定

3. 消費（責任）主義にたった指標



出所：地球1個分の暮らしの指標, WWFジャパン, 2015

$$EF = \frac{P}{Y_N} \cdot \underbrace{YF \cdot EOF}_{\text{生物生産可能地の標準化:}} \cdot \text{ヘクターからグローバルヘクターへ}$$

生物生産可能地の標準化:
ヘクターからグローバルヘクターへ

EF = 生産や廃棄に関連したエコロジカル・フットプリント (gha)
 P = 収穫された生産物または汚染排出物の量 (t yr⁻¹)
 Y_N = 国の P に関する平均収量 (t nha⁻¹ yr⁻¹)
 YF = 収量係数 (wha nha⁻¹)
 EOF = 等価係数 (gha wha⁻¹)

3 LIME3 (Life cycle Impact assessment Method based on Endpoint modeling 3)

- 第2回ワークショップで、解説および試行予定。
- 講師：早稲田大学 創造理工学部環境資源工学科 教授 伊坪徳宏 氏

- LIME3とは？

国際規格に則り、製品やサービスのライフサイクルにおける環境影響を評価する方法であり、グローバル化する企業のサプライチェーンにも対応している。LIME3では世界各地から原料や素材を輸入している製品、世界の各地で使用されている製品等の現地の状況を反映した影響評価が可能。

- LIME3の方法

- ISO140040(2006) と ISO14044(2006)の方法に則り、製品やサービスのライフサイクルでの環境への排出物量や資源の消費量を計算（ライフサイクルインベントリ分析；LCI）した後、それらの環境への影響を評価する方法（ライフサイクル影響評価；LCIA）。
- 特に、被害量を金額換算する方法を備えていることが特徴的。
- 生態系への影響評価は、生物多様性、一次生産への影響について被害量と被害額を分析。

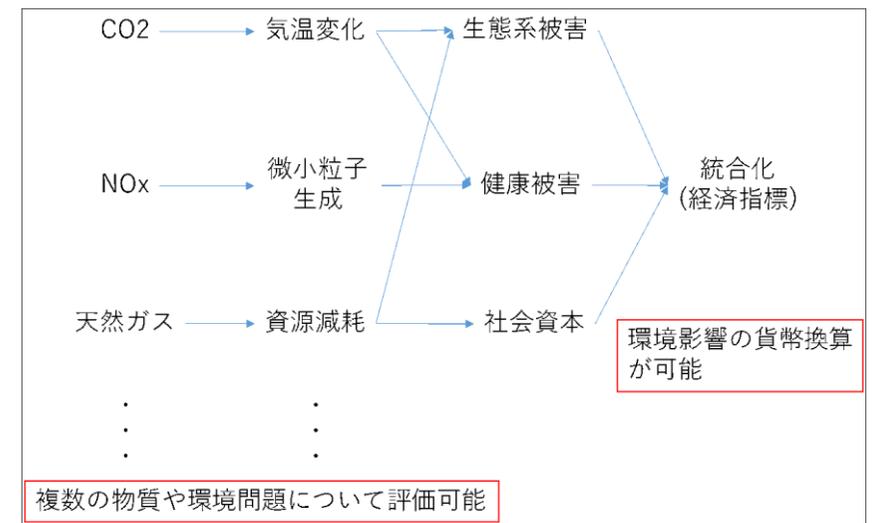


図 LIME3の評価の枠組

出所：東京都市大学HP トピックス詳細（プレスリリース）
<https://www.tcu.ac.jp/news/all/20181204-19073/>



自然関連財務情報開示のためのワークショップ《アドバンス編》のご紹介

自然関連財務情報開示のためのワークショップ《ベーシック編》

第2回 自然関連の依存・影響・リスクの分析に活用できるツールの紹介・実践

2023年10月31日

受託者：EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 EY新日本有限責任監査法人